

生後2か月からの全身乾燥と夜間の強いかゆみが漢方治療後に軽減した幼児アトピーの経過 (3歳男児)

症例 ID：001-03-YY | 記録日：2002年8月2日

1. 診断・治療前経過

生後2か月頃から手首と足の甲がただれ、離乳食を始める頃には全身が乾燥して夜も眠れなくなりました。10か月頃から抗生物質の外用薬と抗ヒスタミン薬を使用し、わずかに症状が軽くなりました。

血液検査ではほこり、ダニ、複数の食物に反応がみられました。食事内容とかゆみを毎日記録し、1日3回の掃除や布団の清掃を続け、実家や友人宅への外出も控えていました。約1年半の治療を経て、漢方治療へ切り替えられました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド使用歴は確認できません。抗生物質の外用薬と抗ヒスタミン薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	該当しません。
使用期間	ステロイドについては不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	ステロイド使用の有無は確認できません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2か月頃	発症	手首と足の甲がただれ始めました。
離乳食開始頃	症状の拡大	全身が乾燥し、夜間に眠れない状態となりました。
生後10か月頃	来院前治療	抗生物質の外用薬と抗ヒスタミン薬を使用しました。
その後約1年半	生活管理	食事記録、除去、頻回の清掃などを続けました。
漢方治療開始	治療開始	漢方薬をミルクに混ぜて服用しました。
開始約2か月	皮膚の変化	全身の乾燥が軽くなり、皮膚がきれいになってきました。
開始約1年	経過	全身の皮膚状態が大きく変化しました。

4. ピーク時期

ピークは、全身の乾燥とかゆみにより夜間1時間おきに泣き、保護者も睡眠不足が続いた時期です。

5. 困りごと

- 夜間1時間おきに泣き、親子ともに十分な睡眠がとれませんでした。
- 食事内容とかゆみの時間を毎日記録し、食物を調整しました。
- 毎日複数回の掃除と布団の清掃が必要でした。
- 実家や友人宅へ遊びに行けない生活が続きました。

6. 経過のまとめ

漢方治療開始約2か月後から全身の乾燥が軽くなり、約1年後には皮膚状態が大きく変化しました。夜間の強いかゆみと、食事・清掃・外出制限に追われていた生活から変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。